

コードワードについて

1 コードワードとは

本製品は不正使用防止のための措置(ロック)がなされています。本製品を動作させるためには、コードワードを取得してください。

コードワードとは、ロックを解除しある条件の下でソフトウェア製品を利用可能にするための「鍵」の働きをする文字列です。購入した製品の1つまたは、複数のライセンスが、1つのコードワードに暗号化されます。購入した製品を動作させるためには、その製品のコードワードの登録が必要です。

本製品には、お客様がコードワードを取得する資格を持つことを示す「ソフトウェア使用認定証」が添付されています。この「ソフトウェア使用認定証」には、コードワードを取得するために必要な情報が記載されていますので、紛失しないようにご注意ください。

2 コードワードの登録手順 概要

- 1) 本製品のコードワードは、お客様が弊社のコードワード発行センタにコードワードを要求していただくことにより入手できます。コードワードの要求には本製品に添付されている「コードワード申請フォーム」をご利用ください。
下記『コードワード発行センタ』宛に電子メールにて、ご申請ください。
- 2) 申請後、1~2日以内(土日祝日および当社指定の休日を除く)に、電子メールにてコードワードが送付されます。
- 3) 送付されたコードワードを登録し、製品のライセンスロック解除を行います。

申請先： 日本電気株式会社 コードワード発行センタ

メールアドレス： license@codeword.jp.nec.com

3 ライセンスツールのインストール

コードワードを登録する前に、ライセンスツールのインストールが必要です。

ただし、既に別製品で同ツールをインストール済みの場合には、新たにインストールする必要はありません。

Linux の場合

- 1) マシン OS を立ち上げ、システムに root でログインします。
- 2) Program Product の入った CD-ROM をドライブに挿入します。
- 3) CD-ROM を mount します。
mount /dev/cdrom /mnt
(上記事例は、マウント先に /mnt を指定、任意に選択してください)
- 4) 環境に合わせて RPM を選択してインストールを行います。
cd /mnt/Linux/licensetool
64bit マシンの場合
#rpm -ivh ./clusterpro-mc-lctools-1.0.1-1.x86_64.rpm
32bit マシンの場合
#rpm -ivh ./clusterpro-mc-lctools-1.0.1-1.i386.rpm

以上で、完了です。

4 ホスト情報の調べ方

コードワードを取得するために、コードワードを登録するマシンのホスト情報を調べて、コードワード申請してください。ホスト情報は、次のようにして調べることができます。

Linux の場合

- 1) マシン OS を立ち上げ、システムにログインします。
- 2) ホスト名を調べます。

`/bin/hostname` または、`/bin/hostname -n` を実行します。
表示された文字列(以下の例では、`host1`)がホスト名です。

```
# /bin/hostname
host1
```

- 3) マシン ID を調べます。

マシン ID は、`hostid` コマンドにより取得するホスト ID 情報と、ネットワークインターフェースカード (以降 NIC) の MAC アドレス情報のいずれかを利用できます。

それぞれの情報取得手順、注意事項は以下の通りですので、システムのご利用形態、運用形態に応じて適切な方式を選択してください。なお、IPv6 アドレスのみを使用する環境の場合は、MAC アドレスを使用してください。

【ホスト ID 情報を使用する場合】

◆ 情報取得手順

`/usr/bin/hostid` を実行します。表示された 16 進数の番号を 10 進数に変換した番号 (以下の例では、16 進数である `7f0100` を 10 進数に変換した値 `8323328`) がマシン ID です。

```
# /usr/bin/hostid
7f0100
```

◆ 注意事項

`hostid` コマンドの実行結果が変わるようなシステム変更を行った場合、コードワードの再発行および再登録が必要になります。

`hostid` コマンドの出力結果が変わるのは一般的に以下のような場合です。

- ✓ IP アドレスを変更した場合
- ✓ `/etc/hosts` を編集するなど、自ホストに関する情報が更新され、ホスト名と IP アドレスの対応が変わった場合

【NIC の MAC アドレスを使用する場合】

◆ 情報取得手順

【RHEL6.x の場合】

`/sbin/ifconfig` を実行します。"HWaddr" 項目に表示された 16 進数の番号のコロン (:) を削除し、10 進数に変換した番号 (以下の例では、16 進数である `00:0C:29:58:D0:4A` のコロンを削除し、10 進数に変換した値 `52233293898`) がマシン ID です。

```
# /sbin/ifconfig eth0
eth0      Link encap:Ethernet  HWaddr 00:0C:29:58:D0:4A
          inet addr:192.168.199.100  Bcast:192.168.199.255  Mask:255.255.255.0
          <以下、省略>
```

【RHEL7.0 以降の場合】

nmcli device show を実行します。"GENERAL.タイプ" 項目に "ethernet" と表示される情報群の "GENERAL.ハードウェアアドレス" 項目に表示された 16 進数の番号のコロン (:) を削除し、10 進数に変換した番号 (以下の例では、16 進数である 00:0C:29:58:D0:4A のコロンを削除し、10 進数に変換した値 52233293898) がマシン ID です。

```
# nmcli device show
GENERAL.デバイス:          XXX
GENERAL.タイプ:           ethernet
GENERAL.ハードウェアアドレス: 00:0C:29:58:D0:4A
```

<以下、省略>

◆ 注意事項

NIC が複数搭載されている場合、いずれかの NIC の MAC アドレス情報を取得してください。

故障等で取得した MAC アドレス情報を持つ NIC を交換する場合、コードワードの再発行および再登録が必要になります。

4) 機種名を調べます。

/bin/uname -m を実行します。表示された文字列(以下の例では、i686)が機種名です。

```
# /bin/uname -m
i686
```

5) OS バージョンを調べます。

/bin/cat /etc/system-release を実行します。表示された文字列

(以下の例では、Red Hat Enterprise Linux Server release 6.2 (Santiago)) が OS のバージョンです。

```
# /bin/cat /etc/system-release
Red Hat Enterprise Linux Server release 6.2 (Santiago)
```

■ 注意事項

マシン ID 情報に hostid コマンドの実行結果を利用し、hostid コマンドの実行結果が変わるようなシステム変更を行った場合、コードワードの再発行および再登録が必要になります。

hostid コマンドの出力結果が変わるのは一般的に以下のような場合です。

- ✓ IP アドレスを変更した場合
- ✓ /etc/hosts を編集するなど、自ホストに関する情報が更新され、ホスト名と IP アドレスの対応が変わった場合

コードワード申請時点でネットワークの構成情報 (IP アドレス、ホスト名等) が決まっていない場合は以下へご連絡ください。

info@clusterpro.jp.nec.com

また、マシン ID 情報に NIC の MAC アドレスを利用し、故障等で NIC を交換した場合にはコードワードの再発行および再登録が必要になります。

5 「コードワード申請」の方法

- (1) 製品に添付されている「ソフトウェア使用認定証」を用意してください。
- (2) お手持ちの「ソフトウェア使用認定証」を参照し、「コードワード申請フォーム」の必要事項をメールの本文に記入してください。ホスト情報については本資料「4 ホスト情報の調べ方」を参照してください。
- (3) 下記に示す必要事項がもれなく記入されているか、再度ご確認ください。記入もれ、記入ミスなどがある場合にはコードワードが発行されませんのでご注意ください。

ホスト情報

- ホスト名 : コードワードをインストールするマシンのホスト名を記入します(本資料「4 ホスト情報の調べ方」を参照のこと)。
- マシンID : コードワードをインストールするマシンのマシンIDを記入します(本資料「4 ホスト情報の調べ方」を参照のこと)。
- 機種名 : マシンの機種名を記入します(本資料「4 ホスト情報の調べ方」を参照のこと)。
- OSバージョン : OSのバージョンを記入します(本資料「4 ホスト情報の調べ方」を参照のこと)。

製品情報

- 型番 : 「ソフトウェア使用認定証」に記載されている型番を記入します。
- 製品名 : 「ソフトウェア使用認定証」に記載されているプロダクト名を記入します。
- バージョン : 「ソフトウェア使用認定証」に記載されているバージョンを記入します。
- 総ライセンス数 : 申請するライセンスの数を記入します(「ソフトウェア使用認定証」参照)。同一のマシンにインストールする場合にかぎり、一枚の「コードワード申請フォーム」で同一製品の複数のライセンスをまとめて申請できます。ただし、購入した数より多くのライセンスは申請できないので注意してください。
- 製品番号 : 「ソフトウェア使用認定証」に記載されている製品番号を記入します。複数のライセンスをまとめて申請する場合は、各々の製品番号をすべてご記入ください。

お客様情報

- 貴社名 : お客様のお勤めの会社名をご記入ください。必ず製品をご購入になられたお客様の会社名をご記入ください。
- システム名 : お客様のご使用になれるシステム名をご記入ください。

コードワード返信先情報

- 貴社名 : コードワード返信先のご担当者様のお勤めの会社名をご記入ください。
- 所属部課名 : コードワード返信先のご担当者様のご所属の部・課名をご記入ください。
- 電話番号 : コードワード返信先のご担当者様の電話番号をご記入ください。
- E-mail : コードワード返信先のご担当者様のE-mailアドレスをご記入ください。発行されたコードワードは、このE-mailアドレス宛に返送されます。
- 御芳名 : コードワード返信先のご担当者様のお名前をご記入ください。

※個人情報の取り扱いについて

- ご記入いただいた個人情報は、コードワードの取得を目的として利用いたします。
- 当該個人情報は、当社と当社からの業務委託先のみが取扱い、その他の第三者には一切提供いたしません。
- お客様個人の情報に関する照会や、訂正、追加または削除については、お客様ご本人から別途ご連絡いただくことにより、合理的な期間および範囲にて対応いたします。お問い合わせ先(申請先)もしくは、当社担当営業までご連絡ください。

6 コードワードの申請

電子メールの件名を「CLUSTERPRO コードワード申請」とし、「コードワード申請フォーム」の所定事項をメール本文に記載し、コードワード発行センタ宛に送付してください。

コードワード発行センタ : license@codeword.jp.nec.com

必要情報の記入もれ、記入ミスなどがある場合にはコードワードが発行されませんのでご注意ください。

7 コードワードの受け取り

申請後、1～2日以内（土日祝日および当社指定の休日を除く）に、電子メールにてコードワードをご送付させていただきます。

何か問題が生じた場合や、実働2日（48時間）以内（土日祝日および当社指定の休日を除く）にコードワードを受け取られなかった場合には、当社『コードワード発行センタ』までご連絡ください。

8 コードワード登録

製品のライセンスロック解除を行うためには、その製品を使用するマシンにコードワードの登録を行います。

コードワードの登録は、以下の手順で行ってください。

まず、システム管理者(root)でログインした後、vi エディタ等を使ってパス名を指定して、/etc/n2l2_lockinfo ファイルの最後にコードワードを追加します。もし、ファイルが存在しない場合は、vi エディタ等を使って/etc/n2l2_lockinfo ファイルを作成し、コードワードを追加します。

```
# vi /etc/n2l2_lockinfo
```

このファイルの最終行（必ずファイルの最終行に追加してください。コードワードは、通常、ファイルの下方にあるものが優先されます）に以下の例にしたがって書き込みを行ってください。

1 行目はコメントです。コードワードがどの製品のものかわかりやすいように、製品名と使用開始日を入力しておいてください。2 行目以降には、有償ロックキーと入手したコードワードを入力してください。有償ロックキーとコードワードは、スペースで区切ってください。また、文字数が多くなりますが、必ず 1 行に入力してください(途中での改行は不可)。

以下が記入例です。

ライセンスの CPU 数とマシンの CPU 数が同じ場合(1CPU ライセンス、1CPU のマシン)

```
# Product name = ProductABC    Start date = 2012/10/01
UL1234-001  CllgfbE8VJdkvg4%QUFef3MtntyVFjXQIFTI32XysnYQK%NPwT#lGfXkY%lhXJU6g
```

CPU 増設などでライセンスを追加入手した場合

```
# Product name = ProductABC    Start date = 2007/10/01
UL1234-001  CllgfbE8VJdkvg4%QUFef3MtntyVFjXQIFTI32XysnYQK%NPwT#lGfXkY%lhXJU6g
UL1234-001  6lT6H%ZjeqFBfUEg%DkMcpKglKq%v5vsqMs#UepPp3lAFYtV%qOMTgxFQcNKNNvHujN
※複数行に分けてマシンのソケット数分のコードワードを入力してください。
```

コードワードの入力後、入力ミスがないか良く確認してください。初めて n2l2_lockinfo ファイルを作成した場合はファイルのモードなどを以下のように修正してください。

```
# chown root /etc/n2l2_lockinfo
# chgrp sys /etc/n2l2_lockinfo
# chmod 644 /etc/n2l2_lockinfo
```

以上で、ライセンスロック解除の手続きは終了です。

■ 注意事項

n2l2_lockinfo ファイルには、複数の製品のコードワードが登録できます。

マルチ CPU 環境で 1CPU 用のコードワードをご利用になる場合は、複数の行に分けて

有償ロックキーとコードワードを入力してください。(コアライセンスの場合も同様です。)

以上